

佐世保中央病院 看護部	文章番号 看管 01-25-12	文章名 認定看護師ニュースレター第 85 号	25 年 09 月 19 日 Page1/1
----------------	---------------------	---------------------------	---------------------------

★認定看護師ニュースレター第 85 号★



皆様お疲れ様です。緩和ケア認定看護師山口 美穂子です。

2025 年 07 月 04 日～05 日に「第 30 回緩和医療学会学術大会」に参加をしてみました。「緩和医療～生老病死を慈しむ～」を大会テーマのもと、大会長は大阪歯科大学田村 恵子先生でした。田村恵子先生はがん専門看護師でもあり私が、緩和ケア認定看護師を目指すきっかけとなった方で今も尊敬し続けています。以前は大阪市にある淀川キリスト教病院のホスピス病棟で従事されていました。最初テレビで拝見し優しい話し方や立ち振る舞いの中に凛とした姿で患者・家族に寄り添う姿に感銘を受け、認定看護師教育センターへの受験を悩んでいた時期に番組を通じて背中を押してもらいました。今回、緩和医療学会で壇上に立たれ優しい口調で様々な知見を述べられる姿に力を頂くことができました。

さて、2025 年 03 月 16 日付けで 3 階西病棟から看護管理室に異動となり現在は専従として院内を横断的に活動し早いもので半年経過しました。今回は緩和ケア認定看護師としての 1 日の活動内容を紹介します。午前中は、カルテからの情報収集（関わっている患者様、告知同席前後の患者様）乳腺外科、呼吸器内科、消化器科、泌尿器科各外来での告知同席。告知同席後に緩和相談室での説明支援。午後からはカンファレンス参加、病棟での IC 同席。告知同席後の入院患者様の所へは外来で 1 回きりとならないよう 1 度は訪室をするようにしています。スタッフ・多職種での情報共有、講義の資料作成、電話相談の対応、まだ件数は少ないですが緩和相談室を訪ねてこられる方の対応をしています。全ての癌種、疾患への対応となるため中々追いつきませんが日々の自己研鑽も怠らないようにしています。専従となり、以前より患者様との関わる時間が増えました。しかし自己の未熟さも痛感していますが同時にやりがいも感じながら日々活動をしています。

2025 年 05 月～07 月に臨床倫理認定士（臨床倫理アドバイザー）養成研修の基礎編を受講しました。現場での倫理的ジレンマへの対応、現場を支えていきたいと思えます。

前任の福田 CN は「日々勉強、患者から教わることを見逃さない」と良くおっしゃってました。日々の学びと経験をケアに活かしていけるよう福田 CN の意思を引継ぎながら自分なりの緩和ケア認定看護師として活動をしていきたいと思えます。多職種のスタッフの方との協働で患者・家族の QOL の維持に今後も努めていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いします。

作成：山口 美穂子

承認：看護部長 横山 藤美